

### Ⅲ. 哺乳動物

中 島 義 人

#### PLATE 1～3

1) 地 勢	..... 1
2) 哺乳相	..... 1
3) 絶滅した哺乳類	..... 6
4) 参考文献	..... 7



PLATE 1



アナグマ (死骸) 22.10.7 ニツ島町にて確認



イタチ (死骸) 21.11.25 確認



ニホンカモシカ H21.8.13 大峽町にて確認



ニホンカモシカ H21.8.20 大峽町にて確認



ホンドモモンガの成体 (1979年)



ヤマネの成体



ニホンジカの出産直後



ニホンジカの成体による林木被害



アナグマ

## 1) 地勢

延岡市は宮崎県北部に位置し、市の北部には花崗斑岩の可愛岳（727.7 m）、行藤山（830.7m）岩峰がある。北東部には鏡山（817m）岳山（614m）があり、北西部には花崗斑岩の大崩山（1643.3m）五葉岳（1569.7m）鹿納山（1567m）鬼の目山（1491m）檜山（1123m）木山内岳（1401m）等があり、南側には唐松山（428.4m）等があり北に比べて低くなっている。

中央部は大瀬川（流路 3.5km）、五ヶ瀬川（全長 106km）、北川、沖田川の主流があり、支流として祝子川、井替川などがある。主流の河口域にはサギ島の大きな沖積地が出来て延岡平野の一部を形成している。

下記の既存資料から哺乳類に関する知見を取りまとめたものである。

## 2) 哺乳相

延岡市の哺乳相は平地から標高 1643.3m の標高差があるため、可愛岳、行藤山に見られるような険岨地から大瀬川、五ヶ瀬川などの河川までの幅広い環境要素を持っているため、哺乳相も平野から山岳地帯に生息する種数は 28 種に達する。

### モグラ目

#### ① ジネズミ *Crocidura dsinezumi* 普通種

日本全土に分布、頭胴長 61 ~ 84mm、体重 5 ~ 12.5g、農耕地、低木林などに生息する。

分布：延岡市

#### ② ヒミズ *Urotrichus talpoides* 普通種

本州以南に分布する、小型のモグラの 1 種。頭胴長 89 ~ 104mm 体重 4.5 ~ 25.5g。低山帯の低木林・草原で地下生活をする。寿命は 3 年。

分布：延岡市

#### ③ コウベモグラ *Mogera robusta* 普通種

日本の中部以南に生息する。頭胴長 125 ~ 185mm 体重 48.5 ~ 175g。農耕地、堤防、河川敷などで地下に坑道を造り生活する。ミミズを 1 日 60 匹食べる。寿命は約 3 年。

分布：延岡市

## コウモリ目

- ① キクガシラコウモリ *Rhinolophus ferrumequinum* 普通種  
日本全土に分布。頭胴長 63 ～ 82mm、体重 17 ～ 35mm。昼間は洞窟の中で集団で休息する。夜間は河川・農耕地などを飛翔して昆虫などを捕食する。  
分布：北川町
  
- ② アブラコウモリ *Pipistrellus abramus* 日本固有種  
本州以南の都市近郊に多く見られ、家屋・構造物の中で休息する。  
夜間は河川・農耕地などを飛翔して昆虫など捕食する。頭胴長 41 ～ 60mm。体重 5 ～ 9 g。寿命は♀ 5 年、♂ 3 年  
分布：延岡市、北川町
  
- ③ ユビナガコウモリ *Miniopterus fuliginosus* 準絶滅危惧種 (NT-r)  
北海道を除く、日本各地に分布する。頭胴長 59 ～ 69mm 体重 10 ～ 18 g。昼間は洞窟の中で数百～数百万頭の大きな集団を造って休息する。採餌は主に山地において中型のガ、トビケラ、カゲロウ、甲虫などを捕食する。10 ～ 11 月下旬に交尾し、7月上旬に出産する。  
分布：北方町

## サル目

- ① ニホンザル *Macaca fuscata* 日本固有種  
林地・農耕地・集落などに出現し、県北各地で目撃することが多い。また、農作物の食害や屋内に侵入するなどの被害がある。食べ物は植物質であるが、肉食を取ることもある。幸島の個体群は天然記念物に指定している。  
分布：延岡市・北浦町・北川町・北方町

## ウサギ目

- ① ノウサギ *Lepus brachyurus* 普通種  
本州以南に生息し、クマタカなどの大型捕食者に捕食されることがある。林地・農耕地・河川敷などに出現することがある。年間の出産回数は 3 ～ 4 回。  
頭胴長 45 ～ 54cm 体重 2.1 ～ 2.6kg。  
分布：延岡市・北浦町・北川町・北方町

- ② ホンドモモンガ *Pteromys momonga* 絶滅危惧 IB 類 (E N- r) 日本固有種  
小型の夜行性動物で、大崩山系においてにおいて 1979 年、2007 年に生息の  
確認記録がある。  
頭胴長 14 ~ 20cm 体重 150 ~ 200g。  
分布：延岡市・北川町
- ③ ムササビ *Petaurista leucogenys* 日本固有種 準絶滅危惧 (NT)  
過去、林木の害獣として人工林に生息し、杉・桧などの害獣であったが、近年著  
しく減少し、今日では保護獣となっている。頭胴長 27 ~ 49cm、体重 700 ~ 1,300g。  
分布：延岡市
- ④ ヤマネ *Glirulus japonicus* 宮崎県重要度 A 絶滅危惧 II 類 (VU-g)  
日本固有種で国の天然記念物になっている。また、1 属 1 種の珍獣扱いにされて  
いる。普通は林木の樹洞にはいって生活し、単独行動が多い。また、パルプ用材  
が製材所に搬入され休眠から覚めた個体が周辺をすることで発見されることがあ  
る。  
頭胴長 68 ~ 84mm、14 ~ 40g。  
分布：北川町
- ⑤ スミスネズミ *Eothenomys smithii* 絶滅危惧 II 類 (VU-r)  
日本固有種、本州以南に分布する。山塊に繋がる山塊から高山まで分布する。特  
色ある分布をしている。頭胴長 70 ~ 115mm、体重 20 ~ 35g。  
分布：分布：延岡市、北川町
- ⑥ ハタネズミ *Microtus montebelli*  
本州・九州などに分布する、日本固有種である。農耕地・草地・河川敷などを生息地  
にしている。頭胴長 95 ~ 136mm、体重 22 ~ 62g。  
分布：北浦町・北川町
- ⑦ カヤネズミ *Micromys minutus*  
農耕地や河川敷などのイネ科の植物に球形の巣を作り、年 2 回繁殖する。頭胴長  
50 ~ 80mm、体重 7 ~ 14mm。  
分布：延岡市・北浦町

⑧ ヒメネズミ *Apodemus argenteus*

全国に分布する、日本固有種である。本種は農耕地から林地、草地まで分布した。食性は雑食性で、1年に2回繁殖する。

頭胴長 65 ~ 100mm、体重 10 ~ 20g。

分布：北浦町・北川町

⑨ アカネズミ *Apodemus speciosus*

日本全国に分布する、日本固有種である。本種は農耕地から林地、草地まで分布した。食性は雑食性で、1年に2回繁殖する。

頭胴長 80 ~ 140mm、体重 20 ~ 60g。

分布：延岡市・北浦町・北川町・北方町

⑩ ドブネズミ *Rattus norvegicus*

世界的な分布種であり、市街地の下水道、養豚場・養鶏場などに出現する。頭胴長 110 ~ 280mm、体重 40 ~ 500g。

分布：延岡市

⑪ クマネズミ *Rattus rattus*

世界的分布種である。本種は主にビルの天井裏などに好んで生息する。頭胴長 150 ~ 240mm、体重 150 ~ 200g。

分布：延岡市

⑫ ハツカネズミ *Mus musculus*

世界的分布種であり、河川敷、農耕地などに分布する。本種は食性は雑食性で、1年に2回繁殖する。

頭胴長 57 ~ 91mm、体重 9 ~ 23g。

分布：延岡市

## ネコ目

① キツネ *Vulpes vulpes*

全国に分布する普通種である。近年個体数増加が各地で確認されている。狩猟統計から近年増殖の傾向がある。頭胴長 60 ~ 75cm、体重 4 ~ 7kg。

分布：延岡市・北浦町・北川町・北方町



② タヌキ *Nyctereutes procyonides*

全国に分布している種。頭胴長は 50 ～ 60cm、体重 3 ～ 5kg。2005 年の狩猟統計では 37 頭以上のイノシシが捕獲されていた。

分布：延岡市・北浦町・北川町・北方町

③ テン *Martes melampus*

本州以南に分布近年北海道に分布を拡大しつつある。平地、市街地等で死体が発見された。頭胴長 45cm、体重 1.1 ～ 1.5kg

分布：延岡市・北浦町・北川町

④ ニホンイタチ *Martes itatsi* (準絶滅危惧 (NT-g))

北海道除く各地に生息。しかし、1880 年後半侵入定着した。頭胴長♂ 27 ～ 37cm、♀ 16 ～ 25cm。尾長♂ 12 ～ 16cm、♀ 7 ～ 9cm。

分布：延岡市・北川町・北方町

⑤ チョウセンイタチ *Martes sibirica coreana*

チョウセンイタチを導入してネズミの駆除を行った記録が残っている。チョウセンイタチは戦前サギ島に大発生したネズミ類の駆除を行うため導入されたことがある。

頭胴長♂ 28 ～ 39cm、♀ 25 ～ 31cm。尾長♂ 16 ～ 21cm、♀ 13 ～ 16cm。本種はイタチより大型で尾率が 50 % を越える。

分布：延岡市・北川町・北方町

⑥ ニホンアナグマ *Meles meles*

北海道を除くほぼ全国に生息しタヌキと混同されやすい。頭胴長 51cm、体重 2kg。宮崎県内においてタヌキよりもアナグマが多く捕獲される傾向がある。

分布：延岡市・北川町・北方町

## ウシ目

① ニホンイノシシ *Sus scrofa*

本州中部以南に生息。常緑広葉樹林・落葉広葉樹林・里山の二次林・農耕地等に出現する。一夫多妻制の社会を造る。頭胴長 110 ～ 160cm、体重 50 ～ 150kg。

2005 年の狩猟統計では 1300 頭以上のイノシシが捕獲されていた。

分布：延岡市・北浦町・北川町・北方町

② ニホンジカ *Cervus nippon*

九州山地等に生息、頭胴長♂ 90～190cm、♀ 90～150cm、体重♂ 90～190kg、♀ 90～150kg。平地・農耕地まで下り、近年、自然増殖によって宮崎県内の林地は本種による食害によって杉・桧などの林木食害が著しく、さらに下層植生にも及んでいる。特に延岡市の林地に生息するシカは北に移動する傾向あり、県境を越えて徐々に大分県に侵入する傾向が見られる。

分布：延岡市・北浦町・北川町・北方町

③ ニホンカモシカ *Capricornis crispus* 保護上重要な種 (OT)

カモシカは国の特別天然記念物に指定されており、環境省は RDB として四国、九州の地域個体群に指定している。延岡市管内のカモシカは定期的に行われる通常調査によって大崩山系、鬼の目山系、黒原山、可愛岳、行藤山などにおいて成体と糞塊によって生息が明らかにされており、表 3 に示すように 1989 年から 1994 年の調査結果からシカと同様カモシカも北上し、県境近くに移動する傾向がある。

分布：延岡市・北川町・北方町

### 3) 絶滅した哺乳類

① ツキノワグマ *Ursus thibetanus* 絶滅種 (EX-d)

1941 年祖母傾山系にある宮崎県側の笠間山で捕獲されたことがある。又、1987 年 11 月は大分県側で捕獲されたが、DNA 解析の結果本州の個体群であることが証明されたが、延岡市管内における記録はない。頭胴長 200～230cm、体重 150～250kg

② ニホンカワウソ *Lutra nippon* 絶滅種 (EX-d)

2004 年五ヶ瀬川河口において生息していた目撃証言があったものの、戦後は、延岡市管内のテナガエビが生息する清流を現地調査を行った結果、生息を確認することは出来なかった。頭胴長 14～20cm、体重 150～220g。

#### 4) 参考文献

- 阿部永監修、1994. 日本の哺乳類、東京大学出版会、東京
- 宮崎県、1982. 動物調査報告書（県北地域）
- 宮崎県、1982. 市町村別野生鳥獣生息分布調査報告書
- 延岡市管内におけるカモシカ調査 1989～1994 通常調査員報告書
- 平凡社、1996. 日本動物大百科 第1巻 哺乳類Ⅰ
- 平凡社、1996. 日本動物大百科 第2巻 哺乳類Ⅱ
- 延岡市管内における狩猟報告、2004.
- 宮崎県総合博物館、2008. 宮崎県総合博物館総合調査「県北地域調査報告書」
- 宮崎県環境森林部自然環境課、2010.宮崎県の保護上重要な野生生物、宮崎県